



▲大会前の練習風景

第98回 箱根駅伝に越生「ゆかり」の選手が出場しました



Profile
永井竜二さん
越生小学校-越生中学校-武蔵越生高校-駿河台大学2年生

Profile
今井隆夫さん
都立大泉高校-日本体育大学-トリアスロン選手として一般企業に就職-越生中学校(臨時任用職員)-名栗中学校教諭-駿河台大学4年生
※中学教諭を休学し駿河台大学に「自己啓発等休業制度」を利用し編入中。

Profile
後藤宣広さん
愛知県立豊川工科高校-日本体育大学(箱根で4年時:7区・区間3位)-駿河台大学コーチ+越生小学校(学習支援員)

後藤さんは越生小学校で永井さんを教え、今井さんは越生中学校で永井さんを教えました。

ケモンを買ってあげないと言われました。実際、大会では2位だったんですが悔しかったのを覚えてます。
僕はじっとしているのが嫌で体を動かすのが好きなので陸上は楽しいです。
(永) 小学5年生のときマラソン大会で1位をとって嬉しかったことを覚えています。
中学校の時は、バスケットでしたが、冬は駅伝に参加をしていました。
陸上は、走るときは苦しくて嫌ですが、走った後の達成感があります。

▼表敬訪問時に走った靴を持参してくださいました



後藤さん(以下(後))小学生の時は全校生徒数が90人、標高650mにある小学校でした。
学校のマラソン大会で7人中3位でも悔しかったのを覚えてます。それ以来、小学校はずっと1位でした。
陸上は走った分だけ成果がでます。力が無くても距離があれば早い選手にも勝てる。めげずに努力をすれば、勝てなかった自分に勝てるようになることが楽しい。

お二人はお互いの事をどう思っていましたか

(今) 中学時代キャプテンをやって

1月2・3日、第98回東京箱根間往復大学駅伝競争(通称:箱根駅伝)に駿河台大学が初出場しました。選手2名とコーチが越生町に「ゆかり」があり、今回取材した内容をお伝えします。

箱根駅伝ランナーが町長を表敬訪問しました

1月17日(月)、今井選手、永井選手、後藤コーチが町長を表敬訪問しました。選手2人は中学時代の師弟という関係。「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走」に初出場し、師弟リレーが実現しました。後藤さんは駿河台大学駅伝コーチと越生小学校学習支援員をしています。3人も越生町にゆかりがあり、新井町長に箱根駅伝「完走」を報告されました。



▲駿河台大学のみなさんと新井町長

初出場おめでとうございます箱根を走ってどうでしたか

今井さん(以下(今))ありがとうございます。今まではテレビで見えていて「ドラマがあつて面白いな」なんて思っていました。
箱根は1区間21人しかランナーがいないので応援がたくさん届きます。私が走った4区は目の前に富士山を望み走ることができました。苦しかったけど他ではできない経験ができました。

陸上をはじめたきっかけは

永井さん(以下(永))この舞台で走りたいと思っていました。今後は箱根で走ることが目標ではなく、出場して勝負のできる選手になりたいと思っています。
(今) 小学校の時に母に校内マラソン大会で3位以内に入らないとボ

いた永井君は勝負強さ、気持ちの強さを持っていました。チームメイトになり彼自身色々葛藤があったと思うが、襷をつなげられて嬉しかったです。
(永) 今井先生は元気で生徒との距離が近かった。今井先生がチームに来るかもしれないと聞いた時、嘘だと思っていました。来る事が決まった時は「本来に来たのか! (笑)」と思いました。先生には成長した姿を見せたい。先生を追い越す走りを見せるのが恩返しと思っていました。

(後) 縁があつたのがすごい。二人で成長しあつてくれたのが良かった。どっちもダメになる可能性もあつた。お互い良い刺激を与えあつてすごかつたと思います。

越生の子もたちに一言お願いします

(今) 小さなことでもあきらめず継続すれば道は開けると実感しました。越生町は自然が豊かなので体力が付きまます。子どもの頃はいっぱい外遊びをして基礎体力を構築してほしい。中学校に登校すると

今井選手のよくある一日のスケジュール

05:00	起床
05:30	補強運動(走るだけでは鍛えられない部分の筋トレ)
06:00	走る(1kmを15本)
07:00	朝食・入浴
?	授業
16:00	練習開始
	15km走る(jog) + 1km×10本等のスピード練習
19:00	練習終了
?	体のケア、ほぐし
22:00	就寝